

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (演習)	3. 科目番号	PSMP3151
2. 授業担当教員	小松 昭吾		
4. 授業形態	グループ発表、ディスカッション、体験学習 (ロールプレイなど)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	臨床心理学やカウンセリング関連の授業を履修していること		
7. 講義概要	心理学的支援法とは、何らかの援助を求める人(クライアント)に対して、行動変容を目的として、言語的・非言語的なコミュニケーションを道具として援助しようとする試みのことであると考えられがちである。しかし現代社会においては、心理援助を行う者の心構えは(カウンセリング・マインドと言われる)、対クライアントのみならず、地域支援やクライアント関係者、また大学での友人関係や部活動並びに職場や家庭においても「お互いに支えあう人間関係」を築く上で、重要な考え方とあり方を示唆している。そこで、本演習では、カウンセリングの理論と技法を学ぶと共に、より広く訪問支援や地域支援、クライアント関係者支援などの援助についても学び、自分の日常のコミュニケーションのあり方を振り返りながら、相手に寄り添うより適切な援助法を身に付ける。また、守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮も学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めているのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法(論理療法)を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。 		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	配布資料を自分なりにまとめておくこと、学習目標の1~4の内容に関するレポートを課します。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】なし</p> <p>【参考書】・河合隼雄(1998). 河合隼雄のカウンセリング入門. 創元社 ・信田さよ子(2020). カウンセリングで何が出来るか. 大月書店 ・植村勝彦編(2007). コミュニティ心理学入門. ナカニシヤ出版</p> <p>【授業資料】・Korchin(著)・村瀬孝雄(訳)(1976/1980). 現代臨床心理学. 弘文堂 ・ジェフレイ,K.ゼイク(編)・成瀬悟策(監訳)(1989). 21世紀の心理療法I-II. 誠信書房</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めているのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法(論理療法)を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <p>授業への参加(出席、態度、発言) 50%</p> <p>レポート・発表・確認テスト 50%</p> <p>以上で評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>まずは心理支援における基礎的な事項について確認を行います。心理支援における主要な理論や実践の手續、臨床現場における実際について説明を行います。その上でカウンセリングとは何か?なぜ始まったのか、そしてどのように発展し、将来どのような方向に歩んでいくのかなど歴史を紐解きながら、実践的に学んでいきます。カウンセリングの実際について解説した後、ロールプレイによる学習を展開します。疑問点などを全体でシェアリングした後、さらにロールプレイを深め、体験的に理解できるように授業内容を構成しています。またカウンセリングを誰に対してするのか(対象や病態水準)や基本的な理論や構造論(時間枠や場所、場面設定)についても説明します。その他、地域支援・訪問支援・危機介入・心の健康教育などをコミュニティ心理学の立場から学び、また心理援助職の義務や倫理についても学習します。特にプライバシーへの配慮は重要な概念なので意識して学習してほしいです。</p> <p>さらに代表的な心理療法を学んでいきます。具体的には精神分析、来談者中心療法、などいくつかの立場を包括的に学んでいきます。心理療法は非常に有用ではありますが、扱いには注意が必要です。技術に溺れることなく、目の前の人を第一に考え、対応することをしっかりと意識して学習してほしいと思います。</p> <p>授業態度に関する加点・減点の具体的な内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中は、よく聞き、よく考え、そして復習をすること。 2. ディスカッションやグループワーク等において、自主的・主体的かつ協力的に学習を進めること。 3. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退、中抜けをしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 携帯電話・スマートフォンの授業中の作動は厳禁とする。他の受講生の学習に迷惑をかける行為(私語、 		

	居眠り、グループ活動に協力しない等)を慎むこと。		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 心理支援とは何か?	事前学習	心理支援の意味について調べておくこと
		事後学習	授業で学んだことをまとめておくこと
第2回	心理支援における理論と技法の多様性	事前学習	心理支援における主要な理論について調べておくこと
		事後学習	心理支援における技法について整理し、まとめておくこと
第3回	心理支援における方法の選択と適用の限界	事前学習	心理支援における具体的な方法について調べておくこと
		事後学習	心理支援の限界についてまとめておくこと
第4回	カウンセリングの歴史	事前学習	カウンセリングの成り立ちからその発展の経緯を説明できるようにまとめておくこと。授業で学んだカウンセリングの実際についてまとめておくこと
		事後学習	カウンセリングの展開における歴史的経緯について整理しておくこと
第5回	カウンセリングの構造と実際	事前学習	カウンセリングの基本的構造について調べておくこと
		事後学習	実践におけるカウンセリングの構造について留意するべき点についてまとめておくこと
第6回	カウンセリングの進行過程と技能	事前学習	カウンセリングの進行過程と技能について調べておくこと
		事後学習	カウンセリングを実施する際の留意点をまとめておくこと
第7回	ロールプレイ	事前学習	これまで学んだことを整理し、まとめておくこと
		事後学習	ロールプレイにおいて難しかったこと、工夫したことをまとめておくこと
第8回	心理療法の歴史	事前学習	心理療法の歴史について調べておくこと
		事後学習	心理療法の成り立ちからその発展の経緯を説明できるようにまとめておくこと
第9回	心理アセスメント	事前学習	心理アセスメントについて調べておくこと
		事後学習	心理アセスメントの理論についてまとめること
第10回	心理アセスメントの実際	事前学習	心理アセスメントの倫理について調べておくこと
		事後学習	心理アセスメントの実際について整理しておくこと
第11回	精神分析	事前学習	精神分析について調べておくこと
		事後学習	精神分析の概要についてまとめておくこと
第12回	来談者中心療法	事前学習	来談者中心療法について調べておくこと
		事後学習	来談者中心療法の概要についてまとめておくこと
第13回	行動療法・認知行動療法	事前学習	行動療法・認知行動療法についてこれまで学んだことを含め、調べておくこと
		事後学習	行動療法について、また第2世代・第3世代の認知行動療法のそれぞれの特徴について整理し、まとめておくこと
第14回	コミュニティ心理学 地域支援・危機介入における心理学的支援	事前学習	コミュニティ心理学について調べておくこと
		事後学習	地域支援の在り方や危機介入における心理学的支援における留意点についてまとめておくこと
第15回	心理師の義務・倫理	事前学習	心理専門職の義務や倫理について整理しておくこと
		事後学習	心理専門職がなぜ研修を受けるのか、またSVを受けることがなぜ重要なのかを整理し、まとめておくこと